

2026

8

August
No. 402

広報

みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

7月7日に行われた田んぼの学校の草取り作業。

子どもたちは、田んぼにのびた雑草を元気いっぱいに取り除いていました。

福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会両沼大会 力を合わせて健闘！三島町チーム

7月5日、第79回福島県総合スポーツ大会の両沼大会が、各地域の5会場で6競技が開催され、三島町チームは壮年ソフトボール、卓球、家庭バレーボール競技に出場しました。壮年ソフトボールは会津美里町の吹上総合運動場で行われ、会津坂下町との激戦の末、惜しくも敗退となりました。

卓球は湯川村体育館で行われ、健闘の結果、6位入賞を果たしました。

家庭バレーボールは三島中学校体育館で行われ、決勝では、金山町チームと接戦を繰り上げた末、見事準優勝に輝きました。

厳しい暑さの中、各競技に出場した選手の皆さんは最後まで全力でプレーし、それぞれの種目で日々の練習の成果を存分に発揮しました。

なお、家庭バレーボール三島町チームは8月2日に開催された会津地域大会に出場し、結果は準優勝となりました。選手たちは最後まで粘り強くプレーし、チーム一丸となつて、あきらめずに全力を出し切りました。

今年も各競技を通して選手同士の交流が深まり、互いに励まし合いながら大会に臨むことができました。

今後もスポーツとおした交流と健康づくりを大切に、さらなる活躍を期待しています。

◀ 壮年ソフトボール



◀ 卓球



◀ 家庭バレーボール



みんなで一緒に創る三島町チーム

今大会から参加資格が拡大され、地域内に勤務している方や、現在は他市町村に居住していても、出身小・中学校のある市町村から参加できるようになりました。

今大会では、家庭バレーボール競技に、現在、東京都で働く二瓶遥さん（大谷出身）も出場しました。二瓶さんは「久しぶりに三島町の皆さんとプレーできて楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

人口減少が進む三島町ですが、地域の住民と三島町に関わりのある方々が力を発揮し、相互に影響し合いながら地域の活力が高まっていくことが期待されます。



三島中学校立志式

三島中学校では、数え年十五歳となる二年生の成長を祝い、これからも健やかに歩んでほしいとの願いを込めて、毎年「立志式」を行っています。

今年度の立志式は、7月8日に三島町交流センター山びこで開催されました。

保護者や教職員、全校生徒、町の関係者に見守られる中、二年生二名が、授与された立志証書を手し、一人一人が自ら掲げた立志の言葉を力強く発表し、その志を刻み、これからも努力を続けていくことを誓いました。

強い決意を抱いて新たな一歩を踏み出した二人は、未来への希望を胸に凜とした表情を見せていました。

式では、小向恵子校長から「今日ここで立てた誓いと立志の言葉を心の道しるべとして、失敗を恐れず果敢に挑戦し、自分の未来を力強く歩んでいくください。」と、激励の言葉が贈られました。参加者全員が二人の新たな門出を温かく祝福し、未来への希望に満ちた節目の一日となりました。

なお、「立志」とは、儒教の祖・孔子が著書『論語』の中で、「十五歳で学問を志した（吾十有五にして学に志す）」と述べたことに由来します。

立志の言葉

五十嵐 悠月（いがらし ゆづき）

独立不羈（どくりつふき）

他の何物にも束縛されず、自分の力や考えによって行動することを意味する。一切の制約を受けず、自立した強い意思で決断し、責任を持って事を成す姿勢を表す。

布川 琉生（ぬのかわ るい）

百折不撓（ひゃくせつふう）

何度失敗して挫折を味わっても、決してくじけずに立ち上がり、自分の志を曲げないことや、初めの意思を貫き通す強い精神力を意味する。



社員インタビュー

黒田 小裕嘉さん
(10代)

宮下地区在住
茨城県大子町出身

勤続 2 年目



担当業務は？

総務部配属で業者からの請求書を受付して、それらを現場ごとに仕分けし、財務係に送るといった仕事をしています。

この会社を選んだ動機は？

年間休日が多いなど福利厚生がきちんとしていたことや、高校3年生の就活時に住まいの紹介など「生活のサポート」もしてくれたからです。

成田 勝俊さん
(20代)

会津坂下町在住
会津坂下町出身

勤続 1 年目



担当業務は？

総務部配属で契約書の作成や、工事関係のファイルの整理、社屋管理等を行っています。

この会社を選んだ動機は？

知人の紹介でこの会社を知りました。以前は東京で不動産業に携わっていましたが、建設業とも関わりがあったので挑戦してみようと思いました。

職場のよいところ・大変なところは？

先輩社員の方々が優しく、社会人としての基本を丁寧に教えてくれます。上司の方も話しかけてくださるので世代間の隔たりを感じません。また、相談すると柔軟に有休が取得できることもありがたいです。

大変だったことは、本社（宮下）の事務所に大量にいたカメムシの掃除です。

三島町に住み、三島町で働く生活は？

自然がいっぱいで、ご近所さんが気に掛けてくださいます。以前はカフェめぐりをして楽しんでいましたが、最近週末は2級建築施工管理技士の学科試験の勉強をしています。「志津倉山の会」にも所属し、近隣の山にも登りました。

今後の抱負は？

教えてもらった仕事を完璧にできるようになることと、資格取得の勉強を頑張ることです。

現在、町営住宅住まいでペットが飼えませんが、引っ越しをした際にはイヌやネコを飼いたいです。

職場のよいところ・大変なところは？

周りの人が温かいことです。東京で働いていたころの上司は「やっておけ」という感じでしたが、こちらは丁寧に基礎から教えてもらえます。普段会わない他部署の社員の方にも顔と名前を覚えてもらい、声を掛けていただき優しさを感じています。だから長く勤務されている方が多いのだと思います。建設業についてわからないことが多いので理解に時間はかかりますが、もっと仕事を与えてもらえるようにがんばります。

三島町で働く生活は？

入社してから初めて三島町にきましたが、毎日観光客が訪れ、景観が美しい町だと思いました。この秋に開催される市町村対抗野球大会にも三島町メンバーとして出場する予定です。

今後の抱負は？

仕事では業務を覚えることと宅地建物取引士の資格取得が目標です。

三島町との関わりでは、市町村対抗野球大会で勝利「三島音頭」を球場で聞くことができるよう活躍したいです。

特集 「住みたい、住み続けたいふるさと(桐源郷)を創る」ために

三島町で働き暮らす魅力とは

シリーズ第2回

前月号より、「住みたい、住み続けたいふるさとを創る」ために欠かせない課題である「仕事の確保」をテーマに、三島町に住み、町内企業で働く方へのインタビューをとおして、三島町の企業をご紹介します。

このコーナーでは、町内企業の紹介を重ねることで、町内外の皆さまに改めて三島町の企業について知っていただき、仕事を選択する際の一助としていただくとともに、持続可能な三島町づくりを支える企業と、そこで働く人々の姿をお伝えしていきます。

なお、本コーナーへの掲載を希望される企業がございましたら、役場地域政策課までお気軽にお問い合わせください。



地域政策課 ☎ (48)5533

滝谷建設工業株式会社



事業内容	土木・建築・舗装工事等を請負う総合建設業
従業員数	98 人
勤務時間	8時から 17 時まで（休憩 1.5 時間）
年間休日等	129 日
給 与 等	賞与年 2 回

企業からのメッセージ

私たち滝谷建設工業株式会社は、「地域と共に成長する企業」であることをモットーとして、80 年にわたり河川・道路構造物、トンネル、各種民間・公共建築物を施工する総合建設業です。様々な建設構造物の設計・施工・保守を通じてお客様との信頼関係を築き、地域社会に貢献し続ける企業でありたいと考えています。

私達社員の唱和する「我等のモットー」「業務指針」は当社の基本姿勢となっており、先取先進のイキイキとした企業風土を育んでいます。

地元である三島町「雪と火のまつり」の他、近隣の柳津町「霊まつり流灯花火大会」、金山町「沼沢湖水まつり」、喜多方市「川の祭典」などに鋭意協賛し続け、これからもお世話になってきた地域のさらなる発展のために地道なクリーンアップ活動や地域貢献にお役に立てる会社として、初心を忘れず活動して参ります。

矢澤町長から養豚事業所へ臭気対策に関する要請書を手渡しました



▲ 左より、【三島町】 鈴木庄蔵副町長、矢澤源成町長
【(株) グローバルピッグファーム】
桑原政治代表取締役、橋本豊執行役員、北爪範之執行役員

7月29日、矢澤町長より株式会社グローバルピッグファームの桑原代表取締役へ「養豚事業所から発生する臭気による生活環境改善を求める要請書」を手渡しました。

町内の松原・滝谷・西方・宮下地区では、同社養豚事業所から発生する臭気により、日常生活に支障が生じているとの声が地域住民から継続的に寄せられています。また、関係地区住民から提出された請願が、議会において採択されたことを受け、町として事業者へ要請を行いました。

要請では、

- ① 臭気低減に向けた設備および運用の継続的な改善
- ② 臭気測定調査の継続と調査結果等の情報共有
- ③ 関係自治体および地域住民との誠実な対話の実施

の3点について、早急な対応を求めました。

町では、今後も関係機関と連携しながら、住民の皆さまが安心して暮らせる生活環境の確保に向け、臭気対策の改善状況を注視するとともに、必要な要請を継続してまいります。

農業委員会が新体制でスタート！

農業委員

役職	氏名	地区
会長	大竹 祐子	滝谷
会長職務代理者	角田 陽市	大登
委員	菅家 三吉	荒屋敷
委員	長谷川 雄一	川井
委員	小堀 修一	西方
委員	佐藤 賢一	宮下
委員	安藤 香奈子	滝谷



上段左より、菅家さん、小堀さん、長谷川さん、佐藤さん
下段左より、角田さん、大竹さん、安藤さん

農地利用最適化推進委員

役職	氏名	地区
委員	菅家 壽一	間方
委員	五十嵐 健二	名入
委員	河越 紀子	桑原



菅家さん 五十嵐さん 河越さん

任期満了に伴い、7月20日付で三島町農業委員会の改選が行われ、町長から農業委員として7名が任命され、新たな体制で活動を開始しました。また、農地利用最適化推進委員の選考があり、3名の方への委嘱が決定しました。

農業委員会は、各地区の遊休農地・荒廃農地の抑制を図り、農地の活用に努めています。

農業に関するご相談や農地に関する手続きなどがありましたら、お気軽に農業委員会事務局までお問い合わせください。

☎ 農業委員会 (48) 5566

アイパワーフォレスト株式会社



事業内容	特殊伐採事業、高断熱木製サッシ「W」、CSR活動・山学校、バイオマス事業
従業員数	8人（役員含む）
勤務時間	8時30分から17時30分まで
年間休日等	105日 1月－3月：毎週（土）（日）休み 4月－12月：毎週（日）と月2回（土）休み

企業からのメッセージ

当社は、建物の近くにある支障木や大径木などを木に登って伐採すること（特殊伐採）を主な業務として創業しました。それに加え三島町特産の桐の伐採や、杉や広葉樹の素材生産も並行して行っております。

社員同士の交流を大切に、働く中で各々が伐採技術の向上を目指し、林業に関する知識を身につけられるような環境を整えています。依頼主の要望に誠実に応えることを心掛け、安全を最優先にして日々業務に取り組んでいます。

林業は私たちの暮らしを支える大切な仕事です。当社は、山と人との距離を近づけ、山の手入れに関する技術や知識を次世代へ伝えていくことも使命の一つと考えています。

社員インタビュー

山本 敬晴さん
(30代)

宮下地区在住
福岡県北九州市出身

勤続3年目



担当業務は？

伐採、造材を中心に行っています。

この会社を選んだ動機は？

令和3年度から三島町の地域おこし協力隊として、町の森林資源を活用する事業を担当していました。担当事業を通じて林業事業者の方々と関わる中で、アイパワーフォレストが開催する「山学校」に参加したことが大きな転機となりました。

「山学校」で林業や特殊伐採の奥深さを知り、「本格的に林業をやってみたい」「特殊伐採に挑戦してみたい」という気持ちがどんどん強くなっていきました。特殊伐採を専門的に学びながら働ける環境に魅力を感じ、この会社への入社を決めました。

職場のよいところ・大変なところは？

この職場の一番の魅力は、特殊伐採の高い技術を持つ先輩から実践を通して学べることです。現場ごとに求められる技術や対応は異なりますが、一つひとつ経験を積み重ね、できることが増えていくたびに自分自身の成長を実感できます。

また、林業だけでなく、芝張りや冬期の雪下ろしなど、さまざまな仕事を経験できることも魅力です。

一方で大変なのは、夏の暑い中での作業です。体力的に厳しいと感じることもありますが、安全に気を配りながら取り組んでいます。

三島町に住み、三島町で働く生活は？

消防団の活動や地区のイベントなど、どこへ行っても地域の皆さんが温かく接してくださいます。

生活の利便性といった条件だけでなく、こうした人とのつながりや地域の温かい雰囲気に住みやすさを感じています。



三島保育所が防火委員会優良団体表彰を受賞しました

7月24日、三島保育所において、会津若松地方広域市町村圏整備組合防火委員会による優良団体表彰が行われました。

これは、三島保育所が長年にわたり、幼年消防クラブ活動などを通して火災予防の普及啓発に取り組んできたことが高く評価されたものです。

表彰式では、五十嵐健二三島町消防団長が「皆さんがお姉さん、お兄さんから引き継ぎ、守ってきた教えが今回の表彰につながりました。これからも火災予防に取り組んでください」とあいさつしました。

また、小林秀一会津坂下消防署三島出張所長から保育所へ表彰状が贈られたほか、子どもたち一人ひとりに記念品が手渡されました。

今後も三島保育所では、日々の生活の中で、火災予防の大切さを伝える活動を続けていきます。



ポンプ操法大会 ―三島町消防団 県大会へ向けて訓練開始―

三島町消防団は、8月30日に開催される「福島県消防操法大会(ポンプ車操法の部)」に出場します。

消防操法大会は、消防団員が消火技術や連携を競う大会で、ポンプ車を配備する宮下班が令和4年以来4年ぶりに出場します。

宮下班を中心に各班から選手を募り、滝原・早戸班、川井班からの2名を加えた7名で、6月下旬から訓練に励んでいます。

現在、両沼管内町村では予選会を行わず、輪番制で県大会へ出場しています。今回が三島町消防団にとって最後の消防操法大会となる可能性もあります。

先輩団員から受け継いだ技術と精神を胸に、訓練の成果を発揮できるよう大会に臨みます。

訓練は、宮下地区の上ノ原車庫敷地内で、会津坂下消防署三島出張所の指導のもと、毎週月・水曜日の午後7時から行っています。

皆様の温かいご声援をよろしくお願いします。



福島県消防操法大会出場選手			
指揮者	板橋洋平	宮下班	
1番員	西恭平	宮下班	
2番員	三浦健太郎	川井班	
3番員	志田雅史	宮下班	
4番員	佐久間秀実	滝原早戸班	
補欠or吸管補助員	鈴木亮	宮下班	
補欠or吸管補助員	茂田龍揮	宮下班	

人権擁護委員による人権啓発活動を実施しました

町内での人権啓発活動が、6月から7月にかけて、町の人権擁護委員である渡部繁信さん（大石田）と小堀庄太郎さん（西方）により行われました。

6月13、14日に開催された工人まつりでは、会場でパンフレットを配布し、人権問題への理解を呼び掛けました。また、6月29日には三島小・中学校で「人権の花運動」を実施し、児童生徒とともに花の苗を植え、思いやりの心を大切にすることを伝えました。

7月9日には、三島小学校5・6年生を対象に人権教室を開催しました。人権について学んだ後、いじめをテーマにしたドラマを視聴し、相手を思いやる大切さについて深く考えることができました。

人権問題は「誰か」のことではなく、「みんな」のこと、そして「あなた」のことです。悩みを抱えたときは、一人で悩まず、身近な人や人権擁護委員に相談してください。



小島純さん（宮下）へ旭日単光章を伝達

7月22日、町長室において、小島純さんへの旭日単光章叙勲伝達式が行われました。

今回の叙勲は、46年にわたり消防団員として町民の生命と財産を守り、団長などの要職を歴任したほか、福島県消防協会会津坂下支部長として近隣町村の安全確保にも尽力し、予防消防の推進に努めた功績が高く評価されたものです。

式では、玉川啓福島県会津地方振興局長から勲記と勲章が授与されました。小島さんは「微力ではありますが、これからも町のために力を尽くしたいと思います」と、今後の決意が述べられました。



▲ 左から、玉川会津地方振興局長、小島さん、矢澤町長、鈴木副町長

細堀信子さん（宮下）に行政相談委員委嘱状を交付

7月21日、町長室において、細堀信子さんへの行政相談委員委嘱状交付式が行われ、福島行政監視行政相談センターの五十嵐文敏所長から委嘱状が交付され、矢澤町長が同席しました。

細堀さんは、これまで観光協会で培った接遇の経験を生かし、地域住民の声を行政へつなぐ「行政相談委員」として活動されます。町民の皆さんが抱える行政に関する困りごとや要望に耳を傾け、身近な相談役としての活躍が期待されます。

開催日時については、今後お知らせいたしますので、行政に関する困りごとや要望などがありましたら、お気軽にご相談ください。

固定資産評価審査委員に佐久間宗一さんが再選任

町議会6月定例会において、佐久間宗一さん（宮下）が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。

任期は、令和8年7月1日からの3年間で、今回で3期目の選任となります。

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に対して不服がある納税者からの申出を審査決定するために設置された第三者機関で、3名の委員で構成されています。



【高清水】花植え活動（6月20日）

小柴 高雄さん

6月20日の午前中、婦人会の皆さんを中心に、地区内の道路沿いで花植えを行いました。

この活動は、地区内を通る国道252号沿いで毎年実施しているものです。今年は、昨年よりも花を植える場所を増やしました。

沿道には畑が多くありますが、「道路わきを花いっぱいになりたい」という婦人会の皆さんの思いから、地区の皆さんが協力して道路沿いに花を植えています。

現在はまだ苗が小さく、あまり目立ちませんが、これから大きく育ち、沿道を通る皆さんの目を楽しませてくれる日が待ち遠しいです。



【間方】「草薙」行われる（6月28日）

菅家 寿一さん

6月28日（日）間方地区では、田んぼ等への道の草薙（草刈）を行いました。毎年行われているものですが、高齢化が進む等の理由により実施路線は減り、現在は2路線のみ行われています。

実施の際は、参加者が二つに分かれ生い茂った草を刈ることで、広々とした道となり、安心して歩くことができるようになりました。

かつては、この草薙のあと、村上でカヤを使って虫小屋を作り、旗やタチアオイの花で飾り付け、虫送りの言葉を唱えながら村中を練り歩き、村下の川に流す虫送りが行われていました。虫送しも、田んぼの耕作とともに復活したい行事の一つです。



【西方】雑草に負けず！守る国道400号（7月5日～10日）

本名 与四郎さん

国道400号線を中心とした刈り払い作業は7月5日から10日までの5日間を中心に行われました。地区委員10名と地区委員OBの青木喜章さん、小松豊さん、五ノ井隆一さん、星幸衛さんと集落支援員の高橋慎介さんも協力して、まだ陽が昇らないうちの作業となりました。

早朝5時より2時間程度の作業が行われ、9日は特に柳津の麻生地区につながる県道ではガードレールフェンスに蔓が幾重にも絡み合っていたり、雑草が道路に垂れ下がっていたりしている場所や、蜂の巣もあつたりと危険で難儀な刈り払い作業となりました。また、通称、ばっけ（バッケ）沢と呼ばれている、広い敷地の雑草は、人の背丈以上にも伸びており、委員の皆さんは大粒の汗をかきながら、黙々と作業を進める姿が見られました。

今年もお盆休み中にかけて多くの帰省客も予想されます。往来する国道400号線はスッキリとなりました。三島町が「日本で最も美しい村」連合となっているため、この活動でその一端を担うことができました。



「OB（元役員）も まだまだ元気 さすけねえ」 「雑草の 力強さに 教えられ 負けてたまるか 大粒の汗」

おおつづ

自己ベストに挑戦!! 三島小学校水泳記録会

7月10日、三島小学校で「校内水泳記録会」が開催され、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎ、自由形などの競技が行われました。

児童たちは日頃のプール学習の成果を発揮し、自己ベストの更新を目指して最後まで力いっぱい泳ぎ切りました。

閉会式では、各学年の代表児童が感想を発表したほか、井上雄騎教頭から「今日の頑張りを水泳だけで終わらせず、日頃の生活に活かし続けることで、自分自身をさらに成長させます。『やればできる!』ということ、これからも自分の姿で証明してってください」と講評がありました。



全力で泳ぎ切った 両沼西部三町村小学校水泳記録会

7月24日、金山町のかねやま小学校で、第36回両沼西部三町村小学校体育交流記録会（水泳）が開催されました。

三島小学校からは5・6年生の児童12人が参加しました。

海老名完吾さんが選手を代表し、「私たちは、これまで練習してきた成果を発揮し、自己ベストを目指して最後まであきらめずに泳ぎ切ることを誓います」と、誓いの言葉を述べました。

児童たちは各種目で日頃の練習の成果を十分に発揮し、それぞれ自己記録の更新を目指して力強く泳ぎました。また、仲間への応援にも懸命に取り組み、思い出に残る記録会となりました。

競技を終えた児童たちの表情には、最後まで全力を尽くした達成感があふれていました。



世代を超えた交流 地域交流会『んだないっと!』開催

7月24日、宮下地区の「宮下活性化センター」において、地域交流会「んだないっと!」が開催されました。町民の皆様及び町内事業所等に勤務される皆様の幅広い交流を通じた地域の活性化を目的に、3回目となる今回は約30名が参加しました。

当日は、幅広い年代の町民が集まり、世代を超えた交流が深められました。



また、現在三島町でインターンシップを行っている台湾からの留学生2人も参加し、国際交流の機会となりました。

参加者は、会津地鶏の焼き鳥をはじめ、用意された料理を囲みながら歓談し、業種や世代、国を越えた交流の輪を広げました。

会場は終始笑顔に包まれ、地域のつながりを感じる、心温まるひとときとなりました。

佐久間 絹江さん



【滝原】滝原地区の人足（7月5日）

7月5日、8時より春の人足で整備をした地区内（外）の共有道路（山道）の草刈りを行いました。

約1時間の作業の後、駒形神社の鳥居にかける七五三縄（しめ縄）作りを行いました。

持ち寄った稲わらをしごき、撚りをかけて三本を撚り合わせ、長さ6mの中央が太い七五三縄ができあがりました。

人足後に行ったので、昼になってしまい、その後に予定していた慰労会は「次回の楽しみに」ということになりました。そのため、準備した豆腐と飲み物を配り解散しました。

毎回忙しいなか、参加・協力してくださる方々により、小さな滝原地区の暮らしが成り立っています。

これからも、皆で協力していきましょう。

また、春先に猪により広場が荒らされて使用できなくなっていました、町の支援を受けて、整備することができました。きれいに整地された広場に、防獣ネットも取り付けられたので、今後は、安全、安心にグラウンドゴルフ等のレクリエーションが開催される予定です。

【間方】「間方スカイラインの草刈り」行われる（7月18・19日）

菅家 寿一さん

7月18日・19の両日、間方から昭和村に通じている、間方スカイライン（林道 入間方～不動沢線）の草刈りが行われました。

この作業は、林道の管理者である町からの委託事業により行われたもので、県道との別れ口から大辺峠までの約7kmを、地区の12名が参加して行われました。

暑い中、参加した方々は慣れた様子で刈払い機を操作し、林道を覆っていた雑草が、みるみる刈り取られていきました。

この林道は、山の作業や材木の搬出、山菜採り等の林業活動は勿論、志津倉山登山、山麓トレッキング、春夏秋冬の森林浴に活用されるとともに、生活道路としての要素も多く含んだ林道で、作業中も数台の車が通りました。晴れた日の峠付近からは、喜多方市や飯豊山を望むことができます。今年は、かしや猫クラブの事業により支障木が伐採されましたので、さらに見晴らしが良くなりました。



会津版「図柄ナンバープレート」のデザインを募集します

会津地域の17市町村では、自動車用の「会津版図柄ナンバープレート」の導入に向け、会津の歴史・文化・自然など、地域の特徴を表現した作品を広く募集しています。

応募作品の中から選ばれた最優秀賞（国土交通省への提案デザイン）には、賞金として10万円を贈呈いたします。

会津地域にお住まいの方に限らず、どなたでも応募できますので、みなさんの応募をお待ちしております。

募 集 期 間	8月14日(金)～10月15日(木)	
応 募 方 法	特設ホームページにアクセスいただき、応募フォームからご応募ください。 ※ 応募に関する詳細は募集要項をご確認ください。	
問い合わせ	・三島町 総務課 ☎0241(48)5511 ・会津総合開発協議会 事務局 ☎0242(24)6312	



地域おこし協力隊

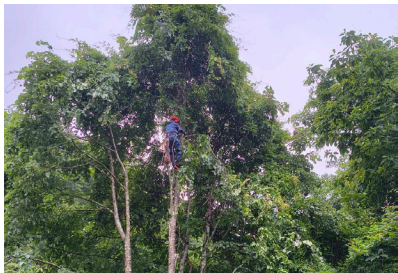
活動誌

7月2日

▲浅田 晴香さん
(生活工芸アカデミー生)

トタンに弾け、あるいは葉を伝い、あるいは地面にぶつかる不揃いな音。あたりは6時を過ぎても薄暗い。工芸館総出で向かった先には道路沿いに並ぶシナノキの姿があった。木こりは、ずしりとしたチェーンソーを携え、木屑の吹雪を起こしながら枝を切り落としていく。雨の霞に紛れるほど登ってしまうと、空へ広がるようにして伸びていた木は、いつしかほぼ

一本の幹だけとなった。この幹は上・中・下と順に切り分けられていき、時には木からロープを垂らしてみんなで引いたりもする。雨音と機械の唸りだけ、誰もが黙々と。最後にいよいよ根元へ刃が入ると、その木はただ一度、どすと鈍い音を響かせて大地に倒れた。幹はさらに切断され、みんなで樹液と雨に手を滑らせながら持ち運んではボールを木皮に差し込む。クルミの皮のようにつるりと剥けた。そして仕上げるにこれを水へ沈めてやる。腐らせることで層がはがれ、やがて私たちがよく知るモワダになるという。普段何気なく手にする素材は、雨の中で一本の木が倒れる、その瞬間から始まっていた。



▲伐採風景



▲沈まるモワダ



▲テント付プール



観光交流館
からんころん
三島町観光協会

第

185

号

〔三島町観光協会・観光交流館からんころん〕

営業時間 8:30～17:30 定休日 / 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下214-5

☎0241(48)5000 FAX: 0241(42)7072 メール: mishima@oboe.ocn.ne.jp

三島町のオリジナルTシャツ

三島町×モンベルTシャツはこの夏追加販売が決定いたしました。また、道の駅みしま宿では「かしや猫Tシャツ」が絶賛好評販売中です。この夏にぜひお買い求めください。※枚数に限りがありますのでお早目にお買い求め下さい

【Tシャツ販売店】

・道の駅みしま宿・山中スポーツ・からんころん

茶屋&キッチンカーの日

店名 / 営業日	メニュー
宮下そばの会 (宮下荒屋敷地区有志の皆さん)	ざる蕎麦 ・並盛 700円(税込) ・大盛 1,000円(税込) ・特盛り 1,200円(税込)
8・9日(土・日)、22・23日(土・日) 時間 11:00～14:00 ※売り切れ次第終了	
中国風カフェ 茶吧 誠 (磐梯町 / キッチンカー)	・中国茶 400円(税込)～ ・薬膳茶 400円(税込)～ ・点心(軽食) 100円(税込)～ ・飲茶セット 700円(税込)
8日(土) 時間 11:00～17:00	



からんころん お盆期間中の営業案内

【時間短縮営業】11・12・13日 【時間】8:30～17:00

三島町・奥会津関連のイベント情報

8/9	二十歳を祝う会
8/10	第89回霊まつり流灯花火大会/柳津町
8/11・12	みさかDEあそび! /美坂高原
8/13	お盆櫓踊り/三島町滝谷地区
8/22	みしままちびがーでん/三島町西方地区
8/22・23	せど森の宴「ミニ桐ダンス作り体験」
8/29	昔語り公開収録会/交流センター山びこ
9/5	市町村対抗福島県軟式野球大会(対磐梯町)
9月第二週末	秋の例大祭/町内
9/13	「ヒロロとクルミを使った編み組細工体験」
9/13	ミサカノヨゾラ2026/美坂高原

【開催中】

●●交流センター山びこ●●

5/30～9/13 撮っておきのみしま町フォトコンテスト
7/18～9/27 奥会津の道

●●夏の只見線臨時特別列車●●

8/1・2、8・9 只見線満喫号(会津若松→只見)
※三島町のおもてなし乗り込み 2・9日

台湾よりインターン生が来ています！ ～2名の学生が来町～

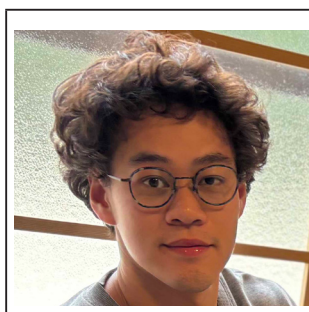


▲ ヒロ口細工製作中

7月13日から8月7日までの間、町と友好交流協定を結んでいる台湾国立雲林科技大学より2名のインターン生が生活工芸館を訪れています。

植物を使った編み組細工の技術を学びながら、三島町での暮らしを体験し、地域文化への理解を深めることを目的に約1か月間滞在します。

またこれを機会に、小・中学生との国際交流、台湾観光客の視点から三島町の魅力（伸ばすべき点）や需要（備えるとよいこと）についてのインタビュー調査でご協力をいただきます。工芸館や町内で見かけた際は、ぜひ気軽に声をかけてください。



ライ ウーチエイ
賴 威傑さん
(LAI, WEI-CHIEH)
ニックネーム：ジェリー
話せる言語：中国語・英語
専攻：動力機械工学



シ ユーチェン
施 昱宸さん
(SHIH, YU-CHEN)
ニックネーム：アレックス
話せる言語：中国語、日本語は勉強中
専攻：デザイン

【気になるギモン】

名前が3つある？（台湾の方の名前の仕組みについて）

台湾では、名前は基本的に「姓（苗字）」＋「名」の2つで構成されています。ただし、漢字の本名（中国語）、ローマ字表記（英語圏向け）、ニックネーム（外国人向け・友人間）の3種類が併存するため、日本人から見ると「名前が3つある」ように感じることがあります。

ニックネームについて

海外との交流が多いため、英語圏向けのローマ字表記、外国人にも呼びやすいニックネームを日常的に使う文化があります。母親または自分でつけることが多いそうです。

【活動予定】

- ・ 編み組細工の基礎技術の体験（主にヒロ口細工ポシェット製作）
- ・ 町内の自然素材の採取体験（モワダ洗い）
- ・ 三島小学校・中学校の子どもたちとの交流
- ・ 台湾観光客に向けた需要調査インタビュー（道の駅みしま宿を予定）

【生活工芸館からのお知らせ】

〈お盆期間中のものづくり体験について〉

8/8㊥から8/16㊦の間は、予約不要で体験実施いたします。どなた様も参加いただけますので、この夏は工芸館へご来館ください。

※8/10㊦は休館となります。

都合により実施していないメニューもありますので、詳しくは、生活工芸館 HP をご覧ください。



◀ 生活工芸館 HP

㊦ 三島町生活工芸館 ☎ (48)5502

工芸館だより

60

ものづくりの伝承



夏本番！ 脂肪肝にご注意を！

vol.113

健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

アイスクリーム、シュワツと爽快なサイダー、キンキンに冷えた生ビール、スイカやトウモロコシ。想像するだけで楽しくなりますが、肝臓はきっと怯えています…！

【肝臓の働き】

肝臓は常時500種類以上の仕事をこなしており、「人体の化学工場」と呼ばれています。中でも特に重要な働きは、以下の3つです。

1	代謝	食べたものを体にとって使いやすい形へ変換
2	解毒	アルコールなどの有害な物質を無毒化
3	免疫	細菌やウイルスなどの異物を除去

【肝臓を^{いた}らるとカラダが蘇る】

健診結果でAST、ALT、γ-GTが基準値を超えてきたという方。脂肪肝かもしれません。

脂肪肝は、肝細胞内に脂肪が溜まってくる病態です。脂肪肝がある方は、自覚症状がほとんど出ないままに、肝臓の働きが悪くなっている。つまり、「代謝」「解毒」「免疫」機能がすべて低下しているということです。肝臓から脂肪を落とすと、肝機能が改善します。基礎代謝が上がることで脂肪を消費しやすくなり、疲れにくくなり、感染症にかかりにくく、かかっても治りやすくなります。健康を取り戻すには、肝臓を労わることが最優先ともいえます。

【肝臓の三毒】

食欲・怒り・愚かさという、仏教の三毒になぞらえてみると、肝臓の三毒は、糖・酒・薬です。汗をかくと飲みたくなるスポーツドリンク（500ml）には、スティックシュガー（1本3g）約10本分の砂糖が入っています。砂糖は身体に入ってエネルギーになりますが、使われず余ると脂に変わり、肝臓についてしまいます。夏に美味しい果物やトウモロコシにも、果糖がたくさん含まれています。そしてアルコールは、肝臓の仕事を増やして疲れさせる毒。もしも最後の1杯を水やお茶に変更したら、肝臓から感謝されるかもしれません。3つに共通して言えることですが、薬も適量であれば身体に害はありません。ですが、徐々に量が増えたり、やめたくてもやめられない状況になってしまったりすると肝臓に大きな負担がかかるので注意が必要です。



正常な肝臓

脂肪肝

新刊図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

●今月のおすすめ

いただきます。

～人生が変わる「守衛室の師匠の」教え～

喜多川 泰 著



「楽に稼いで、好きなように生きる」。そんな軽さでアルバイトを転々としていた青年が、偶然入った大学の守衛室で——人生の「師匠」たちとの出会いを通じて、生きる意味や働く意味を見つめ直していくというストーリー。

その設定を聞いたとき、「現代の若者のリアル」と「人生の普遍的な問い」が、静かに交差する予感がしました。

また、著者・喜多川泰さんが「作家デビュー20周年の集大成」と位置づける本作。現代を生きる誰かの心に、そっと寄り添ってくれる作品です。

※本を返却する際は、必ず「返却BOX」に入れてください。

机の上や周りに放置しないでください。返却の手続きができません。

㊦ 公民館 ☎ (48)5599

●その他図書の紹介

運命の巻戻士⑫

木村 風太 著

80代になるとたいていぼけるか死ぬ。
70代は神様から与えられた特別な時間

林 真理子 著

怒りが消える心のトレーニング
＝図解アンガーマネジメント超入門＝

安藤 俊介 著





国環研だより 第96回 猪苗代湖の「今」を知ろう

三島町のみなさま、こんにちは。2025年7月に猪苗代湖が「ラムサール条約湿地」に登録されたことはご存じでしょうか。今回は、猪苗代湖の環境の現状についてご紹介します。

■酸性の湖から中性の湖へ

猪苗代湖は、かつて酸性の湖でした。上流の温泉や鉱山跡などから酸性の水が流れ込んでいたためです。この水がほかの川の水と混ざると、汚れのもととなる物質が湖底に沈みます。この自然の浄化作用が、猪苗代湖を美しく保っていました。しかし、1996年度以降、湖水は少しずつ中性に近づき、2009年度以降はほぼ中性となりました。水質が中性になると、生き物が暮らしやすくなる一方、自然の浄化作用が弱くなります。また、植物プランクトンや水草が増えるなど、生態系にも変化が見られるようになりました。

■変化する水質

湖の水質を調べる指標の一つに「COD（化学的酸素要求量）」があります。これは、水中に汚れのもととなる有機物などがどのくらいあるかを示す目安です。猪苗代湖では、中性化や水生植物の増加などで自然の浄化作用が低下し、CODが上昇しており、水質の悪化が懸念されています。

■ラムサール条約湿地に登録

2025年7月15日、猪苗代湖は「ラムサール条約湿地」に登録されました。これにより、福島県内の登録湿地は猪苗代湖と尾瀬の2か所となりました。

ラムサール条約の正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」で、多くの生き物が暮らす重要な湿地を守るための条約です。猪苗代湖には絶滅のおそれがある動植物が生息し、コハクチョウも継続的に飛来しています。こうした豊かな自然環境が評価され、国際的に重要な湿地として登録されました。この登録によって今後、国内外からの注目が高まると期待されています。



ラムサール条約では、自然を守るだけでなく、生態系を維持しながら、その恵みを持続的に活用することも重視されています。猪苗代湖の水質や生態系は今も変化しており、国立環境研究所でも福島県や流域自治体と協働して研究を進めています。今後も猪苗代湖の研究や環境保全の取組をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

【参考文献】

- ・福島県『猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画概要』
https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/490503.pdf?utm_source=chatgpt.com
- ・福島県『令和6年度猪苗代湖の水質測定結果等』
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/718578.pdf>
- ・福島県「猪苗代湖がラムサール条約に登録されました！」
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035b/inawashiro-ramsar.html>



問 国立環境研究所福島地域協働研究拠点 地域環境創生研究室 ☎ 0247(61)6572

ときわ たつひこ
筆者 常盤 達彦

町史編さん室だより

第127回

宮下村の歴代村長

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

前々月、前月の西川村外二ヶ村組合（以下組合村）の歴代組合長に引き続き、合併後の宮下村歴代村長について町役場に遺された写真とともに簡単に紹介していきます。

初代の二瓶貴一の任期は昭和17年（1942）6月からですが、少なくとも宮下村が誕生した同年4月1日、その10日後の11日に発生したいわゆる「宮下大火」の時点で「宮下村長臨時代理者」として対応を行っていたことが確認できます。村長就任後は、大火からの復興委員会の委員長も務めており、視察等に来村した大政翼賛会文化部の人見某や会津文化協会の古澤某との座談会に出席したり、宮下大火からの復興について福島に出張しラジオで語ったりするなど、村外への周知も行っています。戦時中の村長でもあり、十八年には満州に一ヶ月ほど視察に行き、その内容を国民学校で報告したり、十九年には神奈川県横須賀で行われた海軍葬（合同慰霊祭）に出席したりしています。

2代の目黒常衛は滝谷建設工業の設立者であり、昭和30年（1955）から34年に福島県議も務めた人物ですが、21年（1946）7月から4ヶ月ほど宮下村長でもありました。任期が短いのは、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）のいわゆる「公職追放」の政策により、辞任せざるをえなかったからだといえます（参考『至誠の人―目黒常衛翁の生涯と事業―』）。

3代の渡部禎二は、組合村の3代目と9代目の組合長と同名同名で同家の出身ですが別の人物です。役場日誌に村長選の記録があり、昭和22年（1947）3

4代	3代	2代	初代
角田 新之助	渡部 禎二	目黒 常衛	二瓶 貴一
大登	大登	滝谷	大谷
昭和26年4月23日 昭和30年7月19日	昭和22年4月8日 昭和26年4月4日	昭和21年7月16日 昭和21年11月23日	昭和17年6月13日 昭和21年6月12日

（町史編さん室）



初代 二瓶 貴一



2代 目黒 常衛



3代 渡部 禎二



4代 角田 新之助

※町史編さん室だより第107回（2024年12月号）、第110回（2025年3月号）において宮下村長を二瓶「貴一」としてありますが、「貴一」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

町からお知らせ

8月分納税のご案内

【納期限 8月31日[㊤]】

▼ 町県民税 (普通徴収) (第2期)

▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第1期)

忘れずに納付してください。

📍町民課 町民係 ☎ (48) 5555

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税 (6月分)

竹本敬子様 (東京都)

他寄附件数2件 計33,000円

二瓶譲様より
ご寄附いただきました

7月15日、二瓶譲様 (大谷) より、3月に瑞宝双光章を受章されたことを記念して、ご寄附をいただきました。

町長室で行われた贈呈式では、二瓶様から「町のためにお使いください」とのお言葉とともに、町長へご寄附が手渡されました。

🌸 お悔み申し上げます

五十嵐重子様 (69才・宮下)

長谷川テル子様 (97才・川井)

小柴敏子様 (97才・高清水)

諏訪フヂエ様 (96才・浅岐)

町の人口と世帯 (7月1日現在)

人口	1,261	増減数	-3	出生	0
男	632		-3	死亡	3
女	629		0	転入	3
世帯	658		0	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

滝谷和楽塾	間方いきいきクラブ
8月18日 [㊤] 午前10時から 滝谷集会所	8月21日 [㊤] 午前10時から 間方集会所
浅岐あったかサロン	ひまわりサロン
8月18日 [㊤] 午前10時から 浅岐集会所	8月24日 [㊤] 午前10時から 町民センター
高清水・小山いきいきサロン	サロンないり
8月20日 [㊤] 午前10時から 高清水集会所	8月24日 [㊤] 午前10時から 名入集会所
西方ほがらかサロン	桧原はつつつクラブ
8月20日 [㊤] 午前10時から 森の校舎カタクリ	9月1日 [㊤] 午前10時から 桧原集会所
サロンなごみ	
8月20日 [㊤] 午前10時から 西方ふるさとセンター	

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

大竹みゆき様 (滝谷)

📍社会福祉協議会 ☎ (52)3344

宮下病院からのお知らせ

きちんと食べて水分補給

宮下病院 管理栄養士 小野 知恵

熱中症予防のためこまめに「水を飲む」ことを心がけていると思いますが、「食べもの」でも水分は摂ることができます。

野菜や果物は大事な水分補給源で、特にトマト、なす、きゅうりなどの夏野菜は90%以上が「水分」で、ミネラルやビタミンも含まれています。また、旬の果物も水分量が多く、すいか1切れ、桃1個 (約200g) には180ml程の水分が含まれています。主食、主菜、旬の野菜をバランスよく食べ、おやつに果物を食べてしっかり水分補給をしていきましょう。

📍福島県立宮下病院 ☎ (52)2321

会津坂下警察署からのお知らせ

闇バイトにご注意を！

「儲かる仕事があるよ」「誰でもできる仕事。捕まらないよ」

こんな言葉にはだまされないでください。闇バイトの可能性もあります。

甘い話に乗らない！

上記のような誘いを受けたら警察に相談してください。

「薬物乱用」ダメ・ゼッタイ！

薬物の乱用は、心身の健康を損ない、家族や友人との信頼関係、将来の夢や生活にも大きな影響を及ぼします。一度の軽い気持ちが深刻な依存につながることもあります。

誘われても「断る勇気」を持ち、不安や悩みは一人で抱え込まず、信頼できる人や相談機関に相談しましょう。みんなで薬物乱用のない安全・安心な社会をつくりましょう。

子どもをネット犯罪から守るために

インターネットは便利な一方で、SNSでのトラブルや見知らぬ相手とのやり取り、個人情報の流出など、子どもが犯罪に巻き込まれる危険もあります。

家庭では、利用時間やルールを決めるとともに、困ったことがあればすぐに相談できる環境づくりが大切です。

フィルタリング機能を活用し、大人と子どもと一緒に安全なインターネット利用を心がけ、ネット犯罪の被害を未然に防ぎましょう。

📍会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

2027年国際園芸博覧会 (GREEN × EXPO2027) 開催について

「GREEN × EXPO2027」とは、「植物」「花」「緑」を総称し、「自然」「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現した2027年に横浜で開催される国際園芸博覧会です。

「幸せを作る明日の風景」をテーマに、1000万株の花と緑が横浜に集結。四季折々の花と緑が集い、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。

1990年の大阪花の万博以来、日本では37年ぶりとなる最上位 (A1クラス) の万博となります。皆様ぜひお越しください。

開催期間	2027年3月19日 [㊤] ～9月26日 [㊤]		
場所	旧上瀬谷通信施設 (神奈川県横浜市)		
主催	GREEN × EXPO 協会 (公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)		
	☎ 045(307)2027	メール info@expo2027yokohama.or.jp	

消防署からののお知らせ

夏のレジャーを安全に楽しむために
～4つの事故防止対策～

夏は、レジャーやイベントなど外出の機会が増える一方で、熱中症や水難事故、山岳事故などの危険も高まります。一人ひとりが安全対策を心掛け、楽しい夏を過ごしましょう。

1 熱中症対策
- 水分と塩分をこまめに補給しましょう。 - 気温が高い時間帯の外出や活動はできるだけ避けましょう。 - エアコンや日陰、保冷剤などを活用し、涼しい環境を整えましょう。
2 水難事故対策
- 一人で川や海へ行かず、複数人で行動しましょう。 - ライフセーバーやツアーガイドなど、専門家がいる場所を利用しましょう。 - 遊泳区域など、安全が確保された場所で遊びましょう。
3 山岳事故対策
- 単独での登山や入山は避けましょう。 - 登山ルートを守り、必要に応じて山岳ガイドを利用しましょう。 - 熊鈴や虫よけスプレーを携行し、肌の露出を抑えるなど、野生動物や害虫への対策を行いましょう。
4 イベントでの事故対策
- バーベキューや花火を楽しむ際は、水を入れたバケツなどを準備し、火の取り扱いに十分注意しましょう。 - 祭りやライブなどでは、こまめな水分・塩分補給を心掛け、飲酒は適量を守りましょう。

山岳地域では天候が急変することがあります。登山や川で遊ぶ際は、こまめに天候を確認し、安全を確保しましょう。

また、天候や体調の変化に備え、無理のない余裕ある計画を立てましょう。

📍会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

ミサカノヨゾラ2026

“星と呼吸する 美坂高原の夜”

開催

天体観望

STAR WATCHING TOUR

スターウォッチングツアー

渡部潤一先生による
星空講演会
星空観望やマルシェ
キャンプ体験など
内容も充実!

満天の星と澄んだ空気のもと、
星空観望と星空ヨガで心と身体をリセット。
大人も子どもも楽しめる、特別な一夜を
美坂高原でお過ごしください。

星空ヨガ

満天の星を眺めながら行うヨガ、
心も身体もリフレッシュ。
初心者の方も安心してご参加いただけます。

2026年9月13日 ① 12:00~21:30

入場無料

会場: 美坂高原 (福島県三島町)

※雨天の場合は内容が変更となる場合がございます

詳しい情報は
こちらから



町長スケジュール

8-9月

月日	曜日	予定公務
8/8	土	第8回両沼7町村親善野球大会
9	日	二十歳を祝う会
18	火	広域圏議会
19	水	令和8年度納税功労者等に対する感謝状の伝達・贈呈
21	金	議会全員協議会 福島県政150周年記念式典
24	月	宮下病院後援会総会・講演会
27	木	昭和かすみ草振興協議会トップセールス
30	日	福島県消防操法(ポンプ操法)大会 (三島町消防団出動)

三島町公式Instagram

三島町では、4月より公式Instagramを開設しました。

観光やイベントの情報を発信しておりますので、ぜひアカウントをフォローのうえご覧ください。

投稿への「いいね」やリポストでの拡散にも、皆様のご協力をお願いいたします。

